

令和4年度

**琵琶湖保全再生施策に関する計画
(第2期)
(第2期琵琶湖保全再生計画)
関連事業予算**

琵琶湖保全再生施策に関する計画(第2期) 関連事業予算



(単位:千円)

	令和3年度当初予算額 A					令和4年度当初予算額 B					増減 B-A				
	予算額	財源内訳				予算額	財源内訳				予算額	財源内訳			
		国費	起債	その他	一般財源		国費	起債	その他	一般財源		国費	起債	その他	一般財源
3 琵琶湖の保全および再生のための事項	33,437,101	13,627,816	5,955,236	11,602,111	2,251,938	30,783,230	11,740,197	5,442,556	11,508,639	2,091,838	▲ 2,653,871	▲ 1,887,619	▲ 512,680	▲ 93,472	▲ 160,100
(1) 水質の汚濁の防止および改善に関する事項	16,533,547	5,186,908	1,769,836	9,404,499	172,304	15,677,093	4,497,618	1,608,556	9,399,554	171,365	▲ 856,454	▲ 689,290	▲ 161,280	▲ 4,945	▲ 939
(2) 水源のかん養に関する事項	10,239,002	5,362,053	2,900,300	1,044,075	932,574	10,049,388	5,210,491	2,865,700	1,049,179	924,018	▲ 189,614	▲ 151,562	▲ 34,600	5,104	▲ 8,556
(3) 生態系の保全および再生に関する事項	1,561,574	389,053	351,700	211,189	609,632	1,247,859	236,595	253,100	279,504	478,660	▲ 313,715	▲ 152,458	▲ 98,600	68,315	▲ 130,972
(4) 景観の整備および保全に関する事項(※再掲)	171,505	0	0	0	171,505	171,505	0	0	0	171,505	0	0	0	0	0
(5) 農林水産業、観光、交通その他の産業の振興に関する事項	5,102,978	2,689,802	933,400	942,348	537,428	3,808,890	1,795,493	715,200	780,402	517,795	▲ 1,294,088	▲ 894,309	▲ 218,200	▲ 161,946	▲ 19,633
4 琵琶湖保全再生施策の実施に資する調査研究に関する事項	294,408	18,940	0	83,961	191,507	298,031	18,593	0	97,717	181,721	3,623	▲ 347	0	13,756	▲ 9,786
5 琵琶湖保全再生施策に取り組む主体その他琵琶湖保全再生施策の推進体制の整備に関する事項	327,965	5,654	0	55,630	266,681	629,245	5,654	0	54,619	568,972	301,280	0	0	▲ 1,011	302,291
6 琵琶湖保全再生施策の実施に資する体験学習を通じた教育その他の教育の充実に関する事項	656,159	21,375	0	238,678	396,106	688,624	19,175	0	274,767	394,682	32,465	▲ 2,200	0	36,089	▲ 1,424
合計(※)	34,715,633	13,673,785	5,955,236	11,980,380	3,106,232	32,399,130	11,783,619	5,442,556	11,935,742	3,237,213	▲ 2,316,503	▲ 1,890,166	▲ 512,680	▲ 44,638	130,981

「琵琶湖保全再生施策に関する計画(第2期)」令和4年度関連予算【予算額 約324億円】

主な増額要因:主に、「5 琵琶湖保全再生施策に取り組む主体その他琵琶湖保全再生施策の推進体制の整備に関する事項」にかかる下記事業について増額があった。

- ・全国植樹祭準備事業について、令和4年度全国植樹祭開催に向けた準備による増・・・約3億円の増額

主な減額要因:主に、「3 琵琶湖の保全および再生のための事項」にかかる下記事業について減額があった。

- (1) 水質の汚濁の防止および改善に関する事項
 - ・流域下水道事業および雨水幹線整備事業について、整備計画に基づく予算額の変動による減・・・約10億円の減額
- (3) 生態系の保全および再生に関する事項
 - ・水産基盤整備事業(ヨシ帯)について、既整備のヨシ帯の維持管理は実施する一方で、新たなヨシの植栽は実施しないことによる減・・・約1.8億円の減額
- (5) 農林水産業、観光、交通その他の産業の振興に関する事業
 - ・「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」対象事業について、国が示す「16ヶ月予算」の考え方に合わせ、国補正予算の積極的な活用と前倒し等を行ったことによる減・・・約15億円の減額

主な新規事業:みらいにつなぐ近江米新品種プロジェクト、オーガニック近江米等産地育成事業、淀川源流の森活用・保全事業など

※「3(4)景観の整備および保全に関する事項」については再掲。「合計」については、再掲を除いている。



琵琶湖を「守る」ことと「活かす」ことの好循環の創出

「琵琶湖保全再生施策に関する計画(第2期)」令和4年度関連予算 【予算額 32,399百万円】

<内 訳>

●水質の汚濁の防止および改善	15,677百万円	●農林水産業、観光、交通その他の産業の振興	3,809百万円
●水源のかん養	10,049百万円	●施策の実施に資する調査研究	298百万円
●生態系の保全および再生	1,248百万円	●施策に取り組む主体、推進体制の整備	629百万円
●景観の整備および保全に関する事項(※再掲)172百万円		●施策の実施に資する体験学習を通じた教育、その他	689百万円

※「景観の整備および保全に関する事項」については再掲。「合計」については再掲を除いている。

計画の重点事項

琵琶湖を「守る」ことと「活かす」ことの好循環をさらに推進





琵琶湖を『守る』取組

水質汚濁の防止対策

- 流域下水道事業 (7,121百万円)
- 雨水幹線整備事業 (273百万円)
- 補助河川環境整備事業 (101百万円)

水源林整備保全、鳥獣害対策

- 陽光差し込む健康な森林づくり事業 (413百万円)
- 新 ○淀川源流の森活用・保全事業 (10百万円)
- 災害に強い森林づくり事業 (38百万円)
- 湖国の森林と自然を守る二ホンジカ特別対策事業 (115百万円)
- 鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業 (101百万円)



水源の森

水草対策、プラスチックごみ対策

- 水草刈取事業 (108百万円)
- 水草除去事業 (114百万円)
- 補助河川総合流域防災事業 (21百万円)
- 散在性ごみ啓発事業 (13百万円)
- プラスチックごみ対策事業 (3.1百万円)
- 農業系廃プラスチック対策推進事業 (0.4百万円)



水草刈取事業

◆外来魚を除く琵琶湖漁獲量

H28:947t、H29:713t、H30:770t、R1:811t、R2:759t

◆オオバナミズキンバイ生育面積(年度末時点)

H29:7.9万㎡、H30:3.2万㎡、R1:3.8万㎡、R2:3.2万㎡

生態系・生物多様性保全、外来生物対策

- ヨシ群落保全管理事業 (11百万円)
- 早崎内湖再生事業 (18百万円)
- カワウ広域管理捕獲実施事業 (8.5百万円)
- 侵略的外来水生植物戦略的防除推進事業 (176百万円)
- 有害外来魚ゼロ作戦事業 (28百万円)
- 水産基盤整備事業 (4.7百万円)
(造成水ヨシ帯でのオオバナミズキンバイの除去等)



侵略的外来水生植物対策



瀬田川洗堰上流で捕獲数が増加しているチャネルキャットフィッシュ

水産資源の回復

- 種苗放流事業 (74百万円)
(アユ、ニゴロブナ、ビワマス等の放流)
- 水産基盤整備事業 (186百万円)
(砂地造成)
- 「琵琶湖漁業再生ステップアップ」プロジェクト (43百万円)
- 新 ○水産基盤整備事業調査費 (6.0百万円)
- 水産資源の最大活用に向けたスマート水産業体制整備事業 (4.8百万円)



種苗放流事業



琵琶湖を『活かす』取組

やまの健康、しがの林業成長産業化

- しがの林業・木材産業強化対策事業 (19百万円)
(県産材流通効率化、県産材流通促進、県産材海外流通推進)
- 森林・林業人材育成事業 (45百万円)
- 「やまの健康」推進事業 (11百万円)
- 都市農村交流事業 (2.5百万円)



環境こだわり農業のブランド力向上

- 「世界農業遺産」プロジェクト推進事業 (8.4百万円)
- 琵琶湖とつながる生きもの田んぼ物語創造プロジェクト
(魚のゆりかご水田の普及拡大等) (2.2百万円)
- 新 ○オーガニック近江米等産地育成事業 (16百万円)
- 新 ○みらいにつなぐ近江米新品種プロジェクト (20百万円)
- 新 ○スマート農業による環境に配慮した農業活動推進事業 (2.5百万円)



魚のゆりかご水田事業



水草を原料にした商品

- 滋賀ウォーターバレー・水環境ビジネス推進事業 (39百万円)
- 水草等対策技術開発支援事業 (10百万円)

環境関連産業の振興

- ◆木材生産
県産材の素材生産量(令和2年) 111,900m³
- ◆琵琶湖と共生する農林水産業
平成31年2月に『日本農業遺産』に認定されるとともに、『世界農業遺産』認定に向けた国連への申請が承認された。

琵琶湖漁業の持続的発展

- びわ湖のめぐみ食文化継承促進事業 (8.2百万円)
- 多様で革新的な流通モデル実践事業 (10百万円)
- しがの漁業魅力発信スキルアップ事業 (16百万円)
- 琵琶湖漁業ICT化推進調査事業費 (3.0百万円)



ピワマスの刺身

琵琶湖の活用推進

- 琵琶湖活用推進支援事業 (0.2百万円)
- ピワイチ観光推進事業 (44百万円)
- 「びわ湖の日」活動推進事業 (8.0百万円)
- エコツーリズム推進支援事業 (0.4百万円)
- 日本遺産・琵琶湖魅力発信事業 (4.1百万円)



琵琶湖サポーターズ・ネットワーク
第2回交流フォーラム



ナショナルサイクルルートに
指定された「ピワイチ」



琵琶湖を『支える』取組

- ◆ 国立環境研究所琵琶湖分室等との連携推進
- ◆ マザーレイクゴールズ推進体制の構築等多様な主体との協働推進

調査研究

- 国立環境研究所連携推進事業 (69百万円)
(国立環境研究所琵琶湖分室との共同研究や研究成果の活用・実用化等)
- 新指標 (底層DO) 等のモニタリング計画の策定と評価の具体的検討 (16百万円)
- 新たな水質管理に向けた湖沼の物質循環に関する調査研究 (36百万円)
- 湖底耕耘による漁場生産力向上実証研究 (0.8百万円)
- 気候変動適応推進事業 (0.8百万円)
- 新** ○ 特産マス類を用いた河川利用の高度化と優良種苗化研究 (1.5百万円)
- 南湖生態系に影響を及ぼす湖底環境等に関する研究 (3.5百万円)



湖底の貧酸素化への対応
(水中ロボットを用いた湖底調査)

多様な主体による協働

- マザーレイクゴールズ推進事業 (13百万円)
- 琵琶湖保全再生計画推進事業 (1.1百万円)
- 協働の森づくりの啓発事業 (12百万円)



Mother Lake Goals
変えよう、あなたと私から



「マザーレイクゴールズ (琵琶湖版SDGs)」の推進

環境教育・学習、広報・啓発

- 琵琶湖博物館展示事業 (88百万円)
- びわ湖フローティングスクール事業 (338百万円)
- 森林環境学習事業 (118百万円)
- 湖沼問題の解決に向けた国際協力と情報発信 (1.5百万円)
- 地球温暖化防止活動推進センター運営事業 (4.0百万円)
- 新** ○ しがの漁場利用ルールの見える化推進事業 (5.0百万円)



環境学習船「うみのこ」

マザーレイクゴールズ(MLGs) の取組状況について

1. マザーレイクゴールズの推進状況



(1) マザーレイクゴールズ推進事業の実施状況等

- 賛同者数
 - 1,171者(令和4年3月31日現在)
- 講演回数
 - 36回(令和4年3月31日現在)
- ロゴマーク利用届出数
 - 100者(令和4年3月31日現在)
- ワークショップ等の事業の実施状況

	実施回数	参加延べ人数
主催事業	27	848
共催事業※	7	466
合計	34	1,314

no.	事業名称	開催日	参加者数
1	第1回月イチおしゃべり会	7月17日	17
2	MLGs WEBライター講座第1回	7月28日	14
3	MLGs WEBライター講座第2回	7月31日	14
4	グローバルミーティングvol.1	8月23日	25
5	MLGs WEBライター講座 記事発表会	8月25日	14
6	第2回月イチおしゃべり会「キャリアデザイン～企業の立場で琵琶湖の環境保全に関わるには？～」	9月8日	16
7	玉園中学校環境学習	9月27日	102
8	守山北中学校環境学習	9月28日	90
9	守山北中学校環境学習	9月29日	60
10	グローバルミーティング for kids (グローバルミーティングvol.2)	10月1日	22
11	クリエイティブスタディ in BIWAKO第1回	10月15日	10
12	クリエイティブスタディ in BIWAKO第2回	10月22日	10
※13	まちスポ大津「体感びわ湖学」	10月23日	21
※14	「マイクロプラスチック・ストーリー」上映会	10月30日	150
15	湖南・甲賀環境協会 水質事故被害拡大防止訓練見学会	11月5日	6
※16	琵琶湖博物館を回ってMLGsを見つけよう！～MLGsってなあに？～	11月6日	30
17	第3回MLGsグローバルミーティング×第18回世界湖沼会議びわ湖・滋賀セッション	11月10日	70

※共催事業

no.	事業名称	開催日	参加者数
18	第3回月イチおしゃべり会「教えてコスモさん！地域版SDGsってどうですか？」	11月12日	10
19	五箇荘小学校環境学習（4年生4クラス）	11月12日	116
20	守山北高校環境学習（3年生1クラス3～4人×3班）	11月15日	10
※21	滋賀県立大学キャンパスSDGs	11月20日	166
※22	MLGs意見交換会「琵琶湖モデル」を問う～学生 vs レジェンド～	12月11日	26
23	びわ湖とプラスチックごみ問題について考えるMLGs協働テーブル	12月23日	24
24	MLGsエシカルワークショップ	12月24日	6
25	第4回月イチおしゃべり会「ゆくビワくるビワ～この1年の琵琶湖と私～」	12月27日	7
26	子どもの自然体験学習を運営するためのスキル研修会（初心者入門編）DAY1	1月15日	20
27	西の湖環境スタディーツアー×自然の中でのまなびcafe	2月6日	55
28	お試し漁師体験	2月12日	9
29	住みたい、建てたい、これからの”住まい”って？DAY1	2月15日	18
30	びわ湖とプラスチックごみ問題について考えるMLGs協働テーブル	2月18日	20
31	環境活動×探求学習 in 目田川～守山市図書館横やすらぎ広場あつまれ！みんなの川づくり～	2月27日	65
32	住みたい、建てたい、これからの”住まい”って？DAY2	3月1日	18
※33	知りたい！語りた！森とつながる暮らしの魅力って？	3月5日	39
※34	びわ湖の研究者になろうツアー～手作り浄水場を作ってみよう！～	3月20日	34

合計 34事業 1,314人

1. マザーレイクゴールズの推進状況



(2) グローバルミーティング



- 8/23 第1回
 - 県内の学生と留学生が、英語で琵琶湖とMLGsについて議論。中学生から大学生まで幅広い層が参加。
- 10/1 第2回
 - 小学生が英語で琵琶湖とMLGsについて議論
- 11/10 第3回MLGsグローバルミーティング×第18回世界湖沼会議びわ湖・滋賀セッション
 - 大学生が琵琶湖・MLGsについて世界に発信
- 大学生による企画運営

1. マザーレイクゴールズの推進状況



(3)環境学習



- MLGsをテーマとして環境学習を実施
 - 9/20 同志社中学校1～3年生 (京都府)(オンライン)
 - 9/27 東近江市立玉園中学校1年生
 - 9/28,29 守山市立守山北中学校1年生
 - 10/6 立命館慶祥中学校2年生 (北海道)(オンライン)
 - 11/12 東近江市立五箇荘小学校4年生
 - 11/15 県立守山北高校3年生

1. マザーレイクゴールズの推進状況



(4)その他 様々な主体とのコラボレーション

事業名称	連携先主体
まちスポ大津「体感びわ湖学」	まちづくりスポット大津
クリエイティブスタディ in BIWAKO	成安造形大学
「マイクロプラスチック・ストーリー」上映会	しがローカルSDGs研究会
湖南・甲賀環境協会 水質事故被害拡大防止訓練見学会	湖南・甲賀環境協会
滋賀県立大学キャンパスSDGs	滋賀県立大学
MLGs意見交換会「琵琶湖モデル」を問う～学生 vs レジェンド～	NPO法人預かりものを戻す会、 NPO法人国際ボランティア学生協会
びわ湖とプラスチックごみ問題について考えるMLGs協働テーブル	しがローカルSDGs研究会
MLGsエシカルワークショップ	イオンタウン湖南
子どもの自然体験学習を運営するためのスキル研修会（初心者入門編）	NPO法人びわこ豊穰の郷
西の湖環境スタディーツアー×自然の中のまなびcafe	ヴォーリズの森環境サポーターズ、 学校法人ヴォーリズ学園



1. マザーレイクゴールズの推進状況



(5) 「MLGs WEB」の運営

公式サイト「MLGs WEB」を運営し情報発信を行った。執筆者の多くは県内外の大学生・高校生とし、若い世代が、滋賀県内の持続可能な社会に向けての取組に接する機会としている。

学生ライターによる記事(一部)

記事	執筆者
滋賀の発酵文化「鮎ずし」を日本、世界へ 長浜市・徳山鮎	虎姫高校生
「体験展示」で直接学ぶ 湖北野鳥センター	虎姫高校生
食で未来につなぐ 「ヨシ」食品に迫る	立命館大学生、 立命館守山高校生
未来に残したい宝物 -奇跡の真珠・琵琶湖パールと出会う	立命館大学大学院生、 同志社女子大学生
「地産地消」の取り組みを推進する場所へ 長浜まちの駅	虎姫高校生
琵琶 よるべき 親子三代の思い繋ぐ 今までになかった琵琶湖産の店 ～実写版 魔女の宅急便?～	近江兄弟社高校生
ヨシ群落を通して「エデン」に還るーコクヨ工業滋賀リエデンプロジェクト	立命館守山高校生
大学生の成長日記～『びわ湖の研究者になろうツアー』への道	関西大学生、 同志社大学生
ゲリラ炊飯で全国を笑顔に！ONESLASHの挑戦のその先は	立命館大学生

1. マザーレイクゴールズの推進状況



(6) SNS等での情報発信

- YouTube
 - 「マザーレイクゴールズchannel」
 - コンセプトムービーの作成
 - 解説動画の作成



• SNSの活用



MLGs公式 Twitter
@MotherLakeGoals





MLGs公式Instagram
@motherlakegoals





MLGs公式facebook
fb.me/motherlakegoals



1. マザーレイクゴールズの推進状況



(7)ロゴマーク等の管理



Mother Lake Goals

変えよう、あなたと私から

- 著作権は滋賀県が保有
- 使用許諾
 - マザーレイクゴールズ(MLGs)ロゴマーク利用取扱要領により運用
 - 賛同者は、MLGsの推進および情報発信のため、普及啓発、資金調達、商業利用等を目的としてロゴマークを利用することができる。
- ロゴマーク利用届出数
 - 100者(令和4年3月31日現在)
- 商標登録
 - 令和3年10月14日:特許庁出願受理
 - マザーレイクゴールズのロゴマーク基本形(グローブロゴ、MotherLakeGoalsの文字列、キーコンセプトの3つが揃ったもの)
 - 13ゴールのアイコンの集合ロゴ
 - 「MLGs」という文字列



1. マザーレイクゴールズの推進状況



商業利用例



保険会社アンケート(第一生命)



日本酒(喜多酒造)



寄附付プリペイドカード(セブン・イレブンジャパン)



ジャンパー(社会福祉法人いしづみ会)



MLGsバッチ(琵琶湖グラス)



ピンバッチ(信楽くるみ作業所)



寄附付ペットボトル(大津商業高校)

2. 今年度の取組

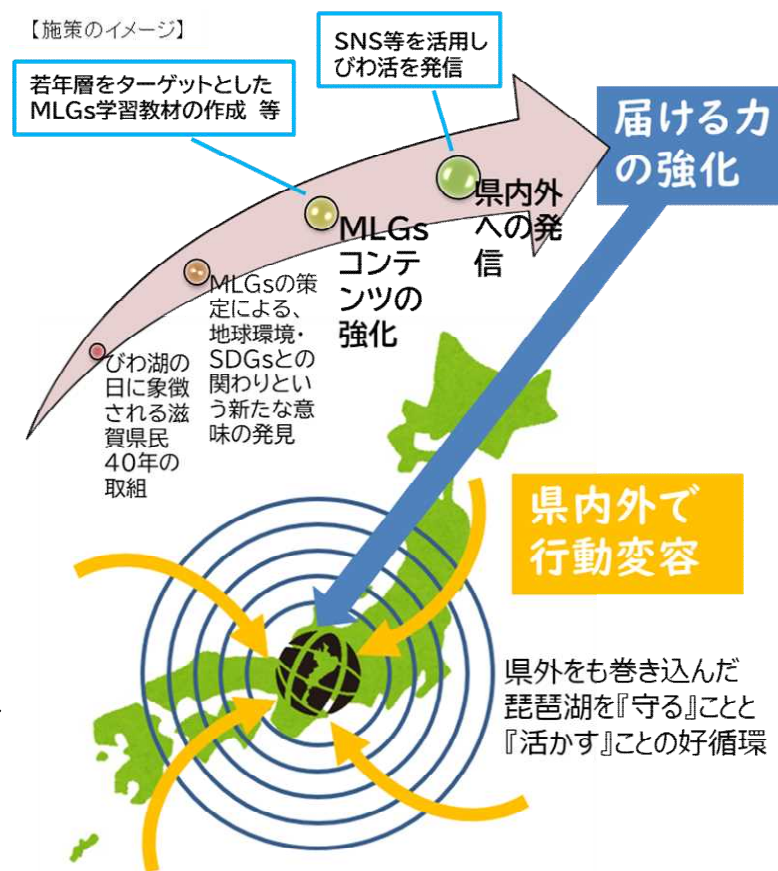
マザーレイクゴールズ推進事業 【予算額 12,658千円】

(1) ワークショップ・MLGs WEBの運営

新 (2) マザーレイクゴールズのコンテンツの強化

- ① 琵琶湖の現状と課題を議論する「総括会議」等の場の開催(順応的管理の実施)
- ② 琵琶湖の現状を学術的かつ分かりやすく整理した報告書の作成(学術的・客観的な評価の導入)
- ③ 若年層をターゲットとしたMLGs学習教材の作成(シガリズム等と連携した環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築)

新 (3) 「びわ湖の日」の取組との相乗効果により、若年層や県外の方々の行動変容を促す



2. 今年度の取組

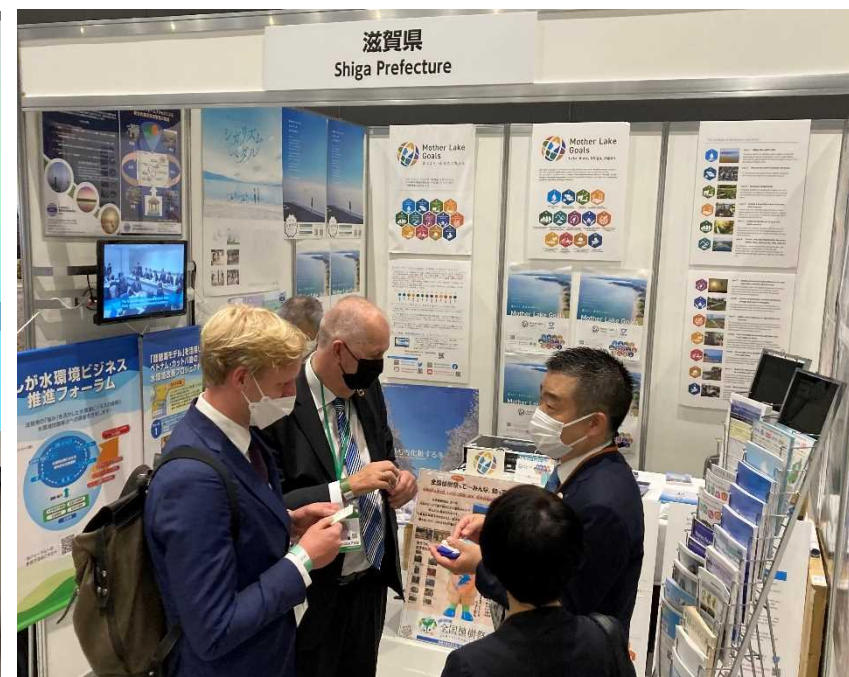


『第4回アジア・太平洋水サミット』においてもMLGsを国内外へ発信

- ・令和4年4月23日・24日に熊本市で開催された第4回アジア・太平洋水サミットにおいてMLGsや琵琶湖の総合保全の取組について知事より発信
(※ 主催者を除き、日本国内の自治体では唯一、分科会・現地展示会にて発信)



【「水と環境」分科会での発表】



【現地展示会での発信】

2. 今年度の取組



マザーレイクゴールズ広報大使 伊藤みき氏との連携

- ・今年の「びわ湖の日」における公表を目指して、「MLGs体操」を県立大学とのコラボにより制作
- ・SNS(Instagram)を活用

元フリースタイルスキー・モーグル日本代表
伊藤みきさん プロデュース
MLGs 体操プロジェクト

7
びわ湖のためにも
温室効果ガスの
排出を減らそう

Mother Lake Goals

第2回・第3回
「MLGs体操つくるワークショップ」
を開催します

第2回
2022.5.14(土)

第3回
2022.6.11(土)

滋賀県立大学 & オンライン開催